

新潟市立松浜小学校



学校データ
【学級数】
19学級
【児童生徒数】
446人
【地域コーディネーター
の有無】
有

松浜愛を育み、地域に貢献する子どもの育成

1 はじめに

阿賀野川河口部右岸に位置する。学校付近に松浜漁港や漁業協同組合があり、かつては漁業が盛んであった。近年、企業進出や市の拡張発展に伴う宅地造成により市街化した。

地域の商店街や団体が伝統の祭りや花火大会を執り行うなど、地域の結束は固く地域活動も盛んである。

子どもたちには、阿賀野川を中心として、自然とそれにかかわって生きる人々の営みについて学ぶとともに体験させる。ふるさと松浜を感じさせ、これからの松浜を子どもたち自身が考えていく活動を通して地域への愛着心を育てていく。

2 取組の実際

(1) 松浜市に店を出そう(2年生)

育てたサツマイモを地域の松浜市で販売する。販売を通して、地域の人々と交流する。

- ① 松浜市に探検に行き、人に触れる。
- ② 市で苗を買ったり、育てたり、収穫したりして地域の人々とかかわる。
- ③ 市に店を開き、販売する。



松浜市での交流と販売活動

(2) いいこといっぱい松浜探検(3年生)

地域にある「ひょうたん池」に行き、観察し、松浜の自然に触れる。

- ① 環境保全に努めている地域の人々から絶滅危惧種のトンボの話を知る。
- ② オオモノサシトンボなど貴重な昆虫を見付け観察する。
- ③ 貴重な昆虫を守っていくためにどうすればよいか考え実践する。



ひょうたん池での観察

(3) ぐみの木を植えよう(4年生)

松浜の自然や人々の生活を知り、先人の努力と工夫を調べる。

- ① 松浜の昔の地域や人々の様子を調べる。
- ② 先人の努力を知る。
- ③ 地域のためにぐみの木を植える。



松浜伝統のぐみの木植樹

(4) 鮭漁とわたしたち(5年生)

松浜に暮らす人々が漁業を大切にしていることを知り、漁業に携わっている人とかかわりながら、地域に貢献しようとする。

- ① 漁船から松浜の鮭漁を見学する。
- ② 鮭・マス増殖組合，日本海区水産研究所の方から取組について聞く。
- ③ 卵から稚魚を育て，放流する。



たくさんとれるかな



鮭の稚魚と放流

(5) 大きくなって返ってきてね(2年生)

5年生の鮭の稚魚の放流を見学して、3年後にたくさんの鮭が大きくなって返って来てほしいと願い，見守る。



もどってきてね

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

(1) 成果

生活科や社会科の学習を通して、地域の人々が自然や暮らしを守るために努力・工夫していることを学ん

だ。これらの知識を生かし、総合的な学習と教科を横断的に学習することで、質の高い学習課題を見付けることができた。

探求した内容は、ノートではなくiPadを使い蓄積した。撮りためた写真を貼り付けるなど分かりやすくまとめる技能を身に付けた。友達と情報交換をして知識を広げ理解を深めた。

(2) 課題

学習を通して、子どもたちは地域について、関心や興味をもつようになった。ぐみの木植樹や鮭の放流などの伝統的な活動を先輩から受け継ぎ地域に貢献してきたが、主体的に地域に働きかける意識がまだ低い。

(3) 育成された資質・能力

松浜を愛する地域の方と触れ合い、協働して取り組んだことで、子どもたちは松浜の宝を知った。松浜を愛し、自分事として進んで地域の活動に参加しようとする姿が見られた。

4 おわりに

地域教育プログラムを推進する教職員が地域のことをよく知らないことが多い。担当する学年のプログラムだけ知っていても、学校としてどのような力を子どもたちに身に付けさせていくかが弱い。

まず、全職員が地域の人や宝を知ること。そのために、今年度から夏季休業中に地域巡検を校内研修として位置付けた。夏の暑い日、地域の専門家から講義を受けながら、地域のよさに触れた。来年度も地域教育コーディネーターと相談して、地域巡検を行う計画を予定している。



地域巡検